

大学生の語種イメージ (2)

—— 数量化第Ⅲ類による解析の結果 ——

菊地 悟*

(1992年12月11日受理)

Satoru KIKUCHI

The Images of Original Japanese Words, Chinese Loanwords, and Western
Loanwords; On the Research into University Students (2)

語種イメージ (語感) の差異を客観的データにより検証する研究の一環として、前稿に引き続き、大学生を対象としたチェックリスト方式調査の結果を「林の数量化理論第Ⅲ類」の手法で解析しようと試みた。まずカテゴリーの整理を行い、カテゴリー・スコア、サンプル・スコアを算出し、それらを2次元空間にプロットしたうえで、考察を加えた。

結論として、確固とした固有の語種イメージが認められるのは外来語のみであること、しかしその外来語と和語・漢語との間でイメージの「ゆれ」が認められること、を指摘した。

1 本稿の方法 —— 前稿の結果をふまえて ——

本稿は、さきの小論⁽¹⁾に引き続き、和語・漢語・外来語という3種類の語種について従来指摘されていたようなイメージ (語感) の差異が認められるかどうか、大学生へのアンケート結果を「林の数量化理論第Ⅲ類」の手法により分析することで検証しようとするものである。調査の詳細については前稿に譲るが、20の刺激語のイメージとしてあてはまる形容語を、60の評価語の中から選ばせるというものであった。

前稿では、Ⅲ類による解析の第一段階として、カテゴリー・スコアの分析を行ったが、それぞれのカテゴリー相互の位置関係が明瞭になるところまではいかなかった。まず、その原因について考察してみよう。

一つには、60の評価語の中に、今回取り上げた20語のイメージを分析する上ではあまり意味のないものが含まれていたのではないか、ということである。たとえば、「そっけない」は、どの刺激語に対しても極めて低い反応しか見られなかった。この語は、たとえば挨拶語のイメージ分析などでは意味を持ちそうであるが、語種イメージについては関与的でない刺激語であったようである。

また、前稿に示したプロット図の多くでは、一方の極に「かわいい・好き・丸みがある

*岩手大学教育学部国語科

・新鮮」といったカテゴリーが集まる、という傾向があった。しかし、原データをよく見ると、これらのカテゴリーはいずれも、刺激語「いくら」固有の評価語となっているようであり、他の刺激語にも共通して用いられるのは「好き」ぐらいのものである。このような、特定の語にしか対応しないようなカテゴリーの存在が、Ⅲ類の分析結果にゆがみを与えた、ということも考えられる。

以上の2点は、結局カテゴリー数が多すぎたということに帰因するであろう。前稿では、とにかく出てきたデータをそのままⅢ類にかけてみよう、という心づもりで第1次分析を行ったのであるが、やはりカテゴリーを整理した上で第2次分析を行う必要があるようである。

そこで、本稿では次のような方針でカテゴリーを整理することにする。

1. 刺激語との対応のパターンが全く同じカテゴリーはそのうちの一つで代表させる。
2. 限られた刺激語にしか対応しないようなカテゴリーは除外する。

また、前稿で20の刺激語すべてを一度にⅢ類による分析にかけたのは、語種の区別がわかりやすい語群から語種イメージをさぐることに、語種がわかりにくい語群によって語種イメージの「ゆれ」の例をあげることとを、同時に行おうとしたためであった。しかし、一度の分析で、一つの仮説とその反例とを同時に検証しようとするには、いささか無理があったと言わざるを得ない。

本稿ではこの点を考慮して、まず第一に語種固有のイメージを探るために、4組の語種の組み合わせである13語をⅢ類の分析にかけ、次に、その他の語をも含めて語種イメージと個々の語固有のイメージとの差を示す、というふうに、二段階の分析を行うことにする。

なお、前稿の結果をふまえて、回答率15%以上の回答があった場合、刺激語と評価語の対応が見られる、と想定した。その際の刺激語と評価語の対応は、論文末尾に別表として示しておく。

2 語種イメージの分析

語種イメージを求めるための刺激語群は次のとおりである。

スイミング・水泳・泳ぎ・フレンド・友人・友・友だち・クエスチョン・問題・問い
・トラベル・旅行・旅

60の評価語がこの13語のうち何語に対して対応しているかを見てみよう。

5語……好き・かたい・明るい・まじめ・地味

4語……なつかしい・現代的・軽やか・優雅・年寄りくさい・暖かい・新しい・古くさい・きざ・素朴・若々しい・親しみがある

3語……おしゃれ・軽薄・男性的・飾り気がない・大人っぽい・重苦しい・伝統的・かっこいい・俗っぽい・重厚

2語……おもしろい・角張っている・のどか・さわやか・つまらない・派手・よそよそしい・渋い・新鮮・くつろいだ

1語……暗い・大げさ・子供くさい・清潔・風流・やわらかい・冷たい・丸みがある
なし……きれい・かわいい・上品・嫌い・野暮ったい・不潔・ふざけている・そっけない・下品・控え目・きたない・いまわしい・だらしない・女性的・ださい

この中には刺激語との対応のパターンがまったく同一という組み合わせがいくつか見られる。それは、5語では「かたい・まじめ」、4語では「なつかしい・暖かい・親しみがある」と「現代的・軽やか・新しい・きざ」と「年寄りくさい・古くさい」の3組、3語では「軽薄・俗っぽい」、2語では「派手・新鮮」である。それぞれ「かたい」「なつかしい」「現代的」「年寄りくさい」「軽薄」「派手」で代表させることにする。

それでは、対応の少ない評価語を排除していくことにしよう。まず、2語以下のものを排除して、3語以上のカテゴリーを対象にすると、次のものが残る。

なつかしい・現代的・好き・優雅・年寄りくさい・おしゃれ・軽薄・かたい・明るい
 ・男性的・飾り気がない・大人っぽい・重苦しい・伝統的・かっこいい・素朴・若々しい・地味・重厚

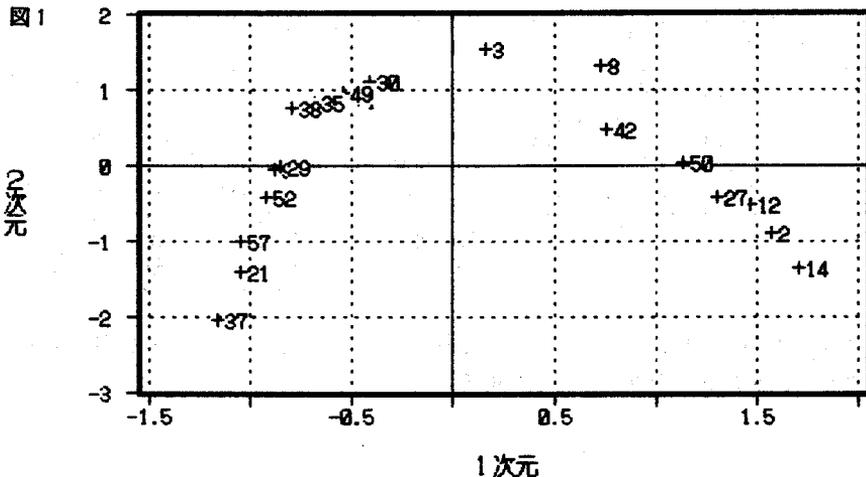
これらのカテゴリーを対象に、3次元までのカテゴリー・スコア、サンプル・スコアを算出する⁽²⁾と、表1、2のようになる。固有値は最大値から0.831, 0.405, 0.310であるから、1次元の寄与率が高い。

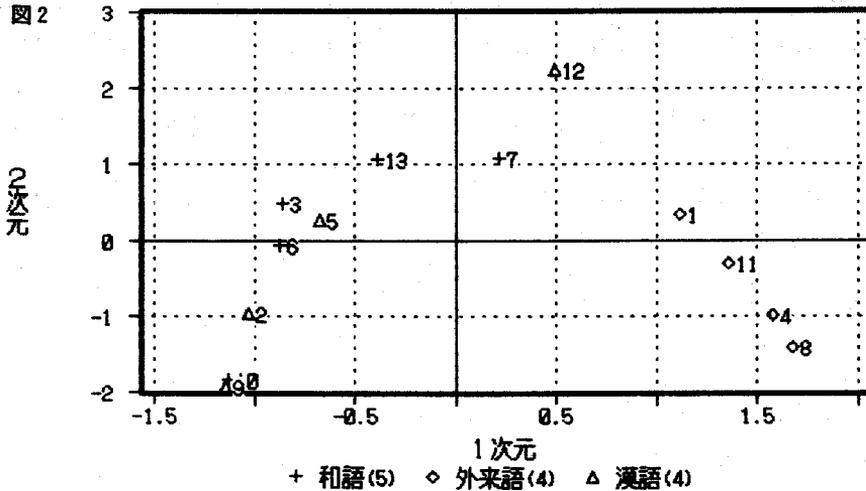
表1

	1次元	2次元	3次元
1. なつかしい	-0.468	0.881	-0.341
2. 現代的	1.573	-0.904	0.311
3. 好き	0.158	1.542	-1.561
8. 優雅	0.731	1.316	-1.365
9. 年寄りくさい	-0.883	-0.044	1.184
12. おしゃれ	1.463	-0.512	0.046
14. 軽薄	1.705	-1.365	0.817
21. かたい	-1.052	-1.415	-1.100
27. 明るい	1.303	-0.413	0.389
29. 男性的	-0.853	-0.006	0.438
30. 飾り気がない	-0.408	1.106	0.588
35. 大人っぽい	-0.686	0.843	-0.515
37. 重苦しい	-1.159	-2.041	-0.789
38. 伝統的	-0.794	0.761	1.774
42. かっこいい	0.754	0.489	-0.346
49. 素朴	-0.542	0.975	1.619
50. 若々しい	1.137	0.048	-0.024
52. 地味	-0.927	-0.426	0.905
57. 重厚	-1.051	-1.015	-1.573

表2

	1次元	2次元	3次元
1. スイミング	1.115	0.352	-0.654
2. 水泳	-1.035	-0.968	0.145
3. 泳ぎ	-0.862	0.497	2.462
4. フレンド	1.575	-0.989	0.553
5. 友人	-0.680	0.262	-1.829
6. 友	-0.880	-0.055	0.358
7. 友だち	0.216	1.085	0.201
8. クエスチョン	1.675	-1.406	0.909
9. 問題	-1.148	-1.925	-1.149
10. 問い	-1.131	-1.835	-0.423
11. トラベル	1.358	-0.301	-0.044
12. 旅行	0.487	2.247	-2.629
13. 旅	-0.391	1.063	0.389





それぞれを2次元空間にプロットすると、図1, 2のように、カテゴリー、サンプルがほぼ半円状に並んでいる。

図1から判断して、1次元は正方向が「軽薄・現代的」、負方向が「重苦しい・重厚・かたい」といった軸のようである。2次元は正方向に「好き・優雅」といったプラスの評価が高い数値を示していて、対極には「嫌い・下品」といったマイナスの評価が想定できるが、ここで取り上げた刺激語群には強いマイナス評価はなかったため、下半分を欠くような図になったと思われる。

しかし図1にはカテゴリー同士が接近している部分があり、もう少し整理できそうである。そこで、刺激語4語以上に対応するカテゴリーにしぼって、カテゴリー・スコアとサンプル・スコアを算出してみると、表3, 4のようになる。

表3

	1次元	2次元	3次元
1. なつかしい	-0.463	0.962	0.079
2. 現代的	1.467	-1.238	0.042
3. 好き	0.190	1.694	-0.890
8. 優雅	0.649	1.321	-0.645
9. 年寄りくさい	-1.045	-0.160	1.464
21. かたい	-1.215	-1.042	-1.755
27. 明るい	1.249	-0.768	0.249
49. 素朴	-0.598	0.515	1.866
50. 若々しい	1.138	-0.297	0.179
52. 地味	-1.141	-0.767	0.008

表4

	1次元	2次元	3次元
1. スイミング	1.048	0.232	-0.405
2. 水泳	-1.316	-1.471	-1.665
3. 泳ぎ	-1.036	-0.223	2.120
4. フレンド	1.434	-1.248	0.299
5. 友人	-0.554	0.875	-1.631
6. 友	-0.997	-0.160	0.633
7. 友だち	0.338	0.685	0.565
8. クエスチョン	1.516	-1.631	0.278
9. 問題	-1.316	-1.471	-1.665
10. 問い	-1.262	-0.978	-0.278
11. トラブル	1.257	-0.399	-0.083
12. 旅行	0.469	2.452	-1.462
13. 旅	-0.448	0.966	0.598

固有値は最大値から0.802, 0.378, 0.275であり、やはり1次元の寄与率が高い。図3, 4はカテゴリーとサンプルのプロット図である。

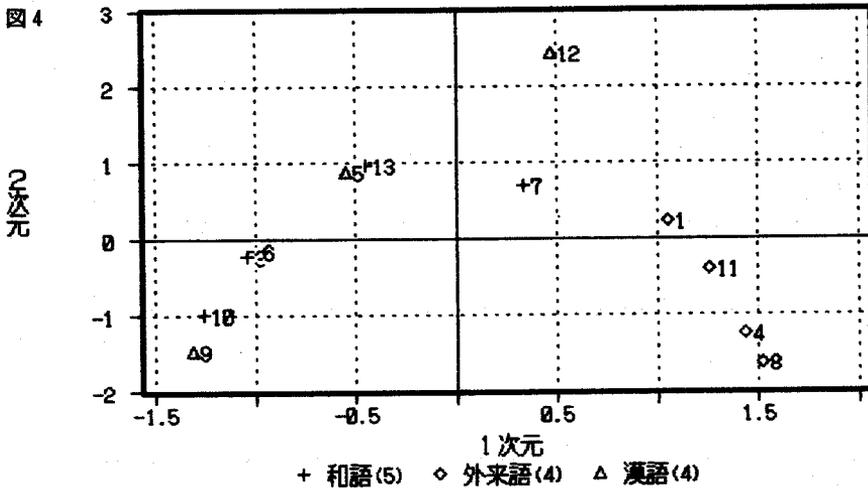
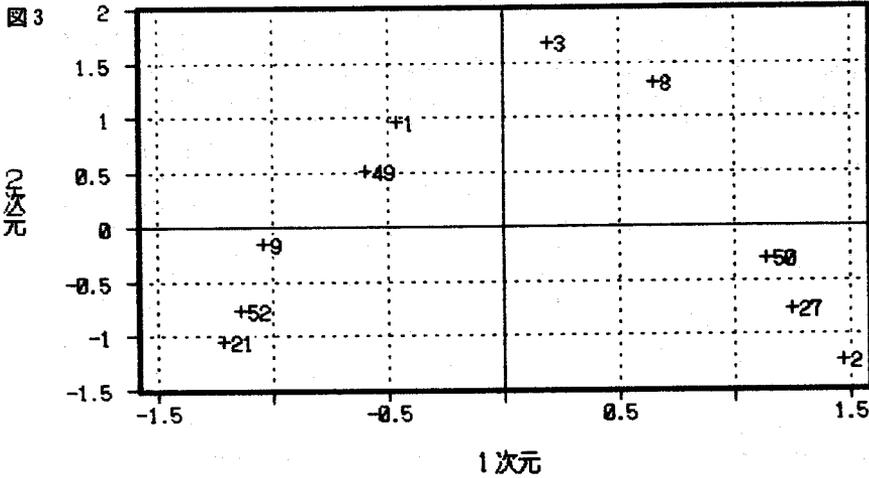


図3を見ると、1次元は正方向が「現代的・明るい・若々しい」、負方向が「かたい・地味・年寄りくさい」といった軸であり、2次元は図1同様「好き・優雅」の数値が高い。

図4では外来語が「現代的・若々しい」、語種にかかわらず「水泳・問題・問い」が「かたい」、和語の「泳ぎ・友」が「年寄りくさい」といったカテゴリーに対応しているようである。ここで目立つのは、「旅行」がぼつんと離れた位置にあるところである。これは、旅行に対応する評価語が2語しかないことによるのではないだろうか。

そこで、「旅行」を除外して分析してみる。その結果が表5、6のカテゴリー・スコアとサンプル・スコアである。固有値は最大値から0.803, 0.334, 0.260になる。図5、6のようにプロットできる。

表5

	1次元	2次元	3次元
1. なつかしい	-0.446	1.403	-1.071
2. 現代的	1.473	-1.072	0.354
3. 好き	0.111	1.387	-1.406
8. 優雅	0.706	0.431	0.302
9. 年寄りくさい	-0.993	0.181	1.619
21. かたい	-1.167	-1.463	-1.406
27. 明るい	1.252	-0.427	0.102
49. 素朴	-0.564	1.199	1.290
50. 若々しい	1.142	0.028	-0.092
52. 地味	-1.087	-0.869	0.568

表6

	1次元	2次元	3次元
1. スイミング	1.045	0.120	-0.290
2. 水泳	-1.257	-2.019	-0.822
3. 泳ぎ	-0.984	0.294	2.274
4. フレンド	1.438	-0.849	0.238
5. 友人	-0.558	0.766	-2.540
6. 友	-0.950	0.156	0.392
7. 友だち	0.334	1.243	-0.462
8. クエストション	1.520	-1.298	0.448
9. 問題	-1.257	-2.019	-0.822
10. 問い	-1.205	-1.110	0.209
11. トラベル	1.275	-0.450	0.327
13. 旅	-0.423	1.077	0.426

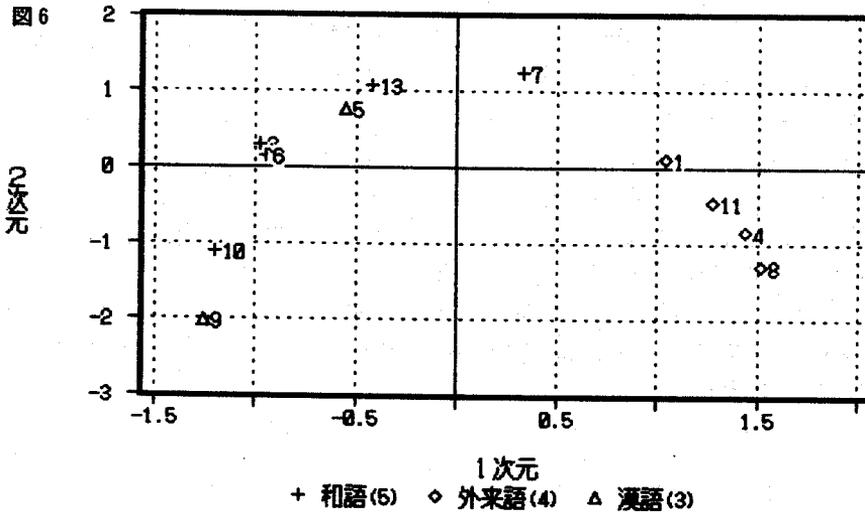
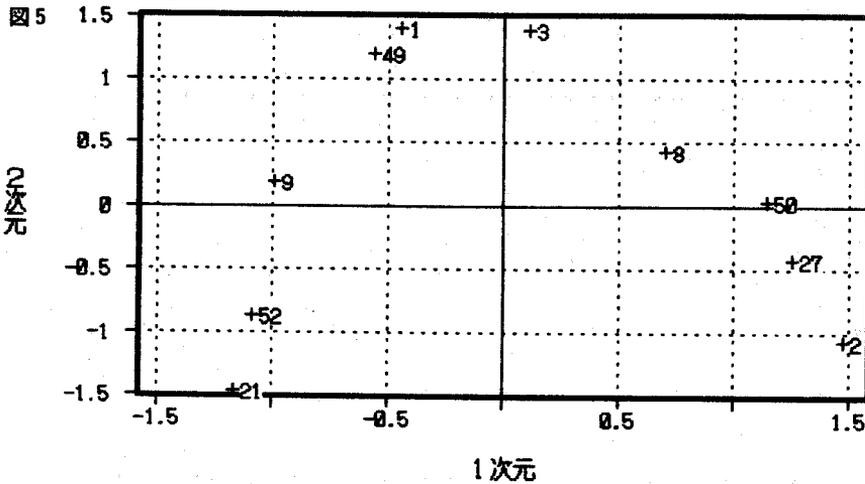


図5を図3と比較すると、「好き」が「なつかしい・素朴」に、「優雅」が「若々しい」に近くプロットされ、カテゴリー、サンプルともにほぼ半円状になっている。

図5と図6を重ね合わせると、外来語4語が「現代的・明るい・若々しい・優雅」と、「友だち」が「好き」と、「友人・旅」が「なつかしい・素朴」と、「泳ぎ・友」が「年寄りくさい」と、「水泳・問題・問い」が「かたい・地味」と、それぞれ対応しているように見える。

60個のカテゴリーは結果的に10個まで整理され、語種イメージを分析する上で必要十分なものが精選されたようである。

ここまで整理した段階で語種イメージについて考察してみると、外来語については「現代的・明るい・若々しい・優雅」といった語種固有のイメージが認められるが、和語、漢語については語固有のイメージにバラつきが大きくて、語種のイメージとして集約することは難しいようである。和語の場合は「泳ぎ・友」に共通する「年寄りくさい」というイメージが本来のものかもしれないが、それも語によって一定ではない。漢語の場合は「水泳・問題」の「かたい」というイメージが中心とも思えるが、「友人」のイメージはかなりかけ離れたものとなっている。

このような分析結果は、以前行ったSD法を利用した因子分析の結果⁽³⁾とも相通じるものと言えよう。

3 語種イメージの「ゆれ」と語固有のイメージ

語種イメージについて一応の分析ができたところで、残りの語群「ひょうきん・すばる・ばら・はれんち・あすか・ひんしゅく・いくら」を対象に加えることにしよう。

まず、先ほど語種イメージの分析に必要な十分とされた10のカテゴリーを対象に分析してみる。カテゴリー2個以下にしか対応しない「あすか・ひんしゅく・いくら」は除外してある。「いくら」は出自が外来語であることがまったく意識されていないため、「現代的・明るい・若々しい」といった評価とは無縁なのである。

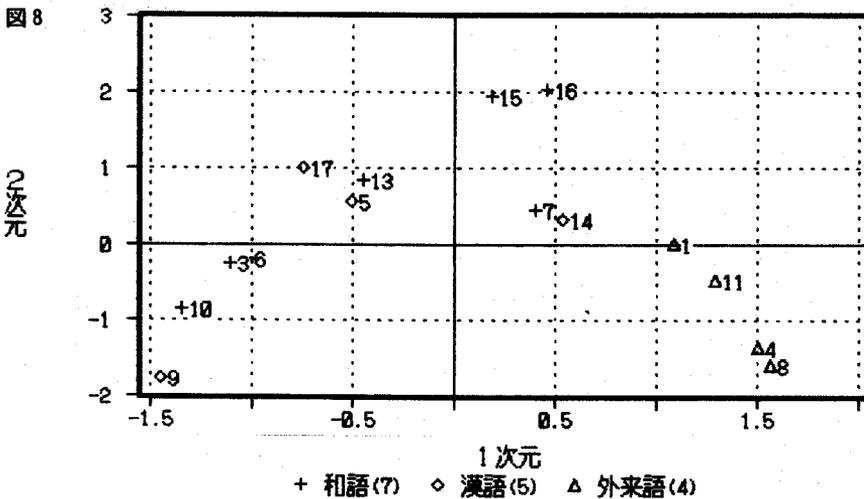
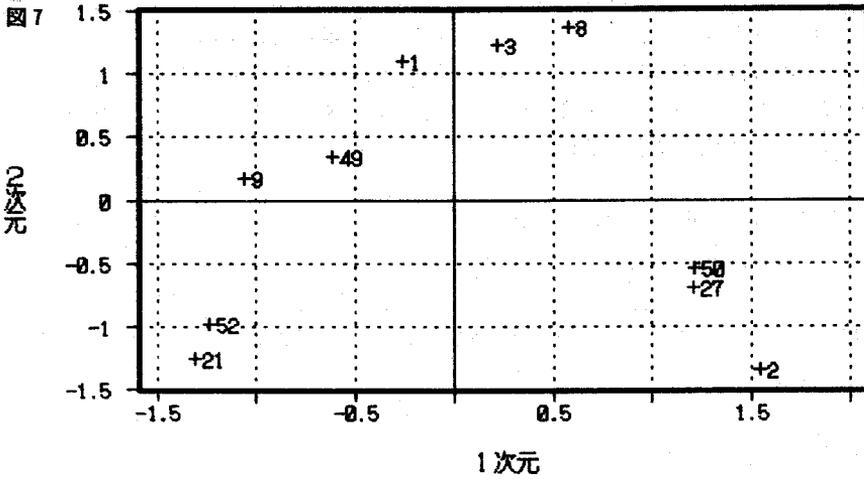
算出されたカテゴリー・スコアとサンプル・スコアは表7、8のとおりである。

表7

	1次元	2次元	3次元
1. なつかしい	-0.259	1.106	0.743
2. 現代的	1.544	-1.345	0.142
3. 好き	0.225	1.223	-1.260
8. 優雅	0.584	1.367	-1.258
9. 年寄りくさい	-1.059	0.174	1.562
21. かたい	-1.310	-1.259	-1.375
27. 明るい	1.207	-0.694	0.604
49. 素朴	-0.615	0.333	1.134
50. 若々しい	1.215	-0.539	0.043
52. 地味	-1.241	-0.980	-0.489

表8

	1次元	2次元	3次元
1. スイミング	1.084	0.004	-0.628
2. 水泳	-1.448	-1.759	-1.692
3. 泳ぎ	-1.103	-0.248	1.336
4. フレンド	1.501	-1.350	0.477
5. 友人	-0.509	0.561	-1.145
6. 友	-1.018	-0.197	0.572
7. 友だち	0.403	0.449	0.459
8. クエスチョン	1.562	-1.601	0.677
9. 問題	-1.448	-1.759	-1.692
10. 問い	-1.345	-0.853	0.170
11. トラブル	1.291	-0.476	-0.213
13. 旅	-0.448	0.844	0.131
14. ひょうきん	0.538	0.324	1.223
15. すばる	0.185	1.943	-0.468
16. ばら	-0.459	2.035	-2.287
17. はれんち	-0.748	1.006	2.093



固有値は最大値から0.776, 0.405, 0.303であり, 2次元の寄与率もや高くなっている。プロット図は図7, 8のようになり, 図5, 6のような半円形ではない。

図7を図5と比較すると, 「優雅」が「若々しい」よりも「好き」に近い。これは, 「ばら・すばる」が加わったためと考えられる。また, 「素朴」が「なつかしい」より「年寄りくさい」に近いのは「はれんち」のためである。

図8を見ると, 「はれんち」が「友・旅行」と近くにプロットされるなど, 実感から離れた感がある。これは, 前の13語については有効であったカテゴリー10個が, 他の語の分析には必ずしも十分でないことを示しているであろう。

それでは, どのようなカテゴリーが有効なのであろうか。とりあえず, それぞれのカテゴリーが20個の刺激語のうち何個に対応するかをあげてみよう。

7語……なつかしい・好き・優雅・古くさい

6語……軽薄・明るい・俗っぽい

- 5語……軽やか・年寄りくさい・かたい・きざ・まじめ・素朴・地味・親しみがある
- 4語……現代的・おしゃれ・暖かい・新しい・男性的・大人っぽい・かっこいい・若々しい
- 3語……きれい・おもしろい・派手・渋い・飾り気がない・ふざけている・清潔・重苦しい・伝統的・風流・新鮮・重厚
- 2語……暗い・角張っている・のどか・大げさ・さわやか・上品・つまらない・嫌い・よそよそしい・子供くさい・下品・きたない・いまわしい・やわらかい・丸みがある・くつろいだ・女性的・ださい
- 1語……かわいい・野暮ったい・不潔・だらしない・冷たい
- なし……そっけない・控え目

刺激語との対応のパターンが同一というのは、6語では「軽薄・俗っぽい」、5語では「かたい・まじめ」、4語では「現代的・新しい」、の3組である。

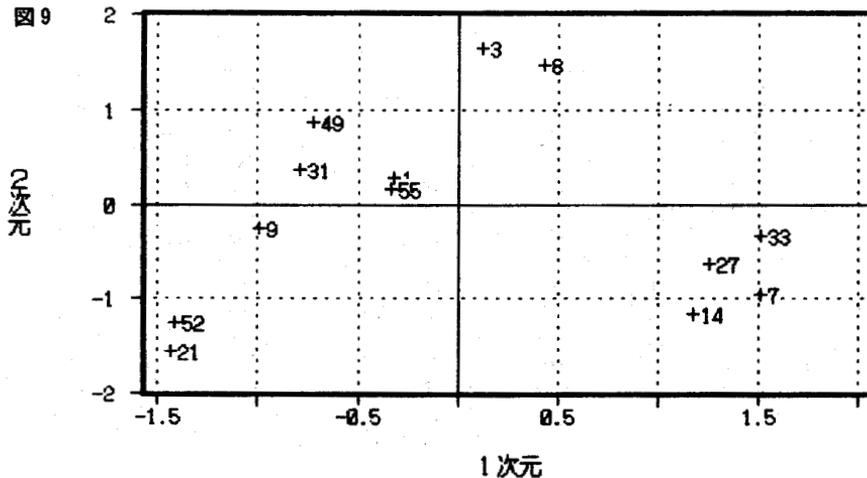
表9

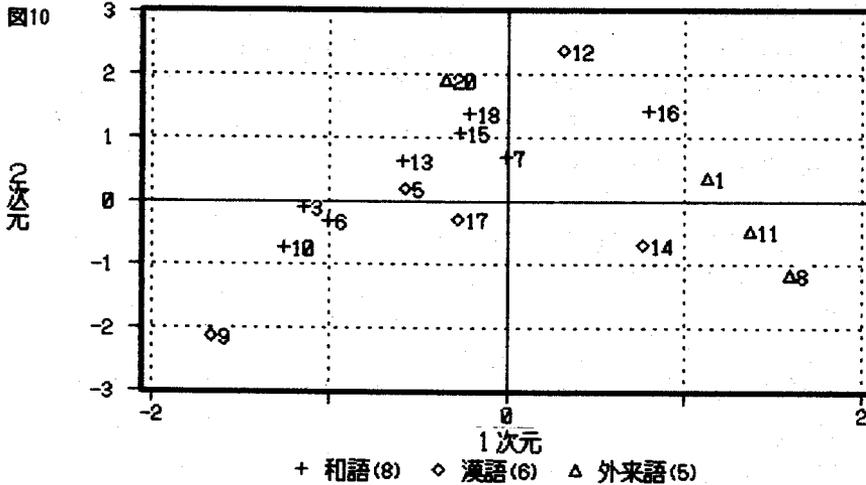
	1次元	2次元	3次元
1. なつかしい	-0.322	0.274	0.596
3. 好き	0.122	1.653	-1.465
7. 軽やか	1.506	-0.956	-0.009
8. 優雅	0.426	1.474	0.109
9. 年寄りくさい	-0.995	-0.263	1.473
14. 軽薄	1.174	-1.162	0.937
21. かたい	-1.438	-1.563	-1.416
27. 明るい	1.253	-0.622	-0.177
31. 古くさい	-0.791	0.357	1.810
33. きざ	1.510	-0.332	-0.512
49. 素朴	-0.722	0.860	-0.312
52. 地味	-1.415	-1.241	-1.055
55. 親しみがある	-0.333	0.149	-0.362

表10

	1次元	2次元	3次元
1. スイミング	1.125	0.371	-0.704
2. 水泳	-1.665	-2.135	-2.118
3. 泳ぎ	-1.145	-0.109	0.821
4. フレンド	1.588	-1.169	0.103
5. 友人	-0.575	0.195	-1.135
6. 友	-1.003	-0.311	0.179
7. 友だち	0.000	0.705	-0.590
8. クエスチョン	1.588	-1.169	0.103
9. 問題	-1.665	-2.135	-2.118
10. 問い	-1.255	-0.746	1.067
11. トラベル	1.370	-0.487	0.120
12. 旅行	0.320	2.380	-1.162
13. 旅	-0.588	0.621	0.170
14. ひょうきん	0.765	-0.706	0.338
15. すばる	-0.267	1.068	1.437
16. ばら	0.801	1.418	-1.067
17. はれんち	-0.273	-0.303	2.064
18. あすか	-0.213	1.394	1.644
20. いくら	-0.350	1.913	-1.523

図9





ここでは、5語以上との対応が見られるカテゴリーを対象にすることにする。分析の結果、表9、10のようなカテゴリー・スコア、サンプル・スコアが得られた（対応する評価語の少ない「ひんしゅく」はサンプルから除外した）。固有値は最大値から0.734, 0.431, 0.340である。2次元の寄与率がかなり高い。

プロット図（図9、10）を見ると、1次元は「軽やか・明るい」と「きざ・軽薄」といった裏腹なイメージが正方向に、「かたい・地味」というイメージが負方向にと並び、2次元は正方向に「好き・優雅」というプラスの評価が見られるものの、対極にあるべきマイナス評価はここでも出てこなかった。

ここで言えることは、外来語の中で「いくら」だけが離れた位置にあること、その他の外来語は「軽やか・明るい」の反面「軽薄・きざ」というイメージでとらえられているが、漢語「ひょうきん」、和語「ばら」もそれに近いということ、などであるが、原点のあたりにサンプルが群がっているあたり、特性が十分出ているとは言い難い。

そこで、対応する評価語の少ない「水泳・問題・旅行・あすか・ひんしゅく」を評価語除外してみる。それにともない、対応する刺激語が少なくなる「かたい・地味」を刺激語から外す。

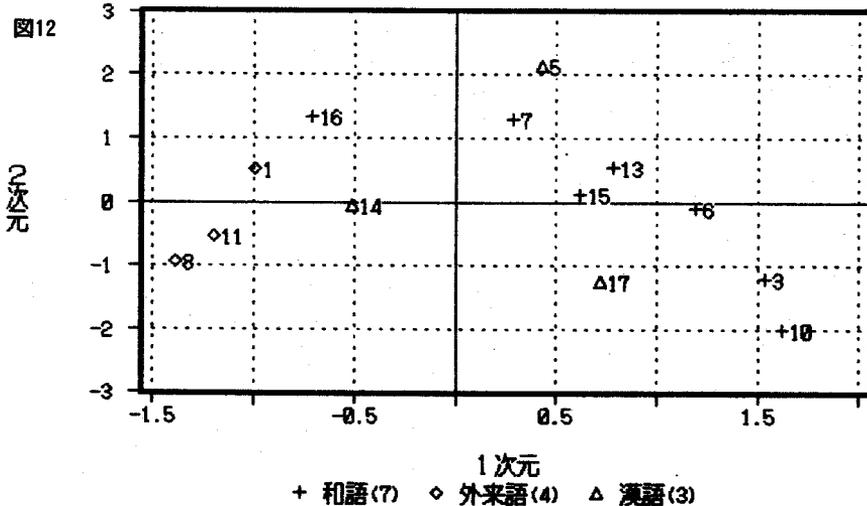
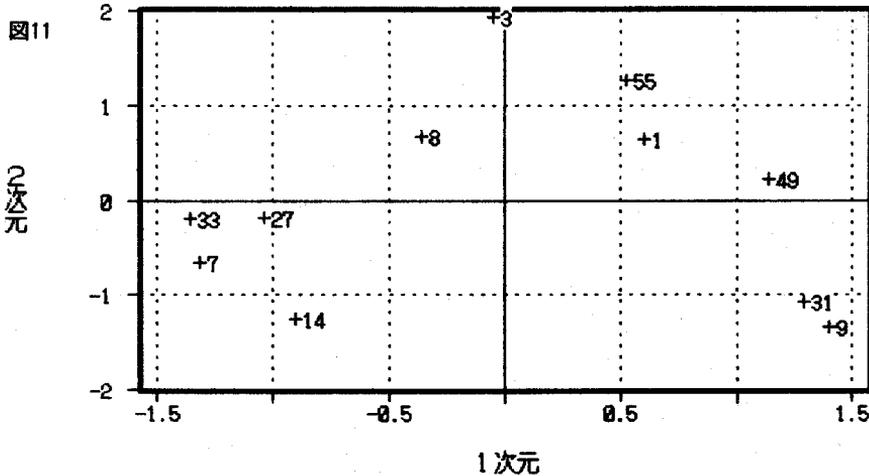
表11

	1次元	2次元	3次元
1. なつかしい	-0.601	0.642	-0.791
3. 好き	-0.050	1.929	0.674
7. 軽やか	-1.313	-0.653	-0.461
8. 優雅	-0.359	0.667	2.072
9. 年寄りくさい	1.405	-1.335	0.396
14. 軽薄	-0.904	-1.244	-0.954
27. 明るい	-1.036	-0.186	-0.695
31. 古くさい	1.294	-1.073	0.731
33. きざ	-1.360	-0.194	1.096
49. 素朴	1.136	0.217	-0.350
55. 親しみがある	0.522	1.266	-1.476

表12

	1次元	2次元	3次元
1. スイミング	-0.989	0.520	1.019
3. 泳ぎ	1.535	-1.213	0.491
4. フレンド	-1.385	-0.946	-0.481
5. 友人	0.430	2.127	-1.007
6. 友	1.191	-0.094	-0.565
7. 友だち	0.282	1.286	-1.001
8. クエスチョン	-1.385	-0.946	-0.481
10. 問い	1.620	-2.001	1.069
11. トラベル	-1.194	-0.535	0.401
13. 旅	0.780	0.550	0.340
14. ひょうきん	-0.511	-0.058	-1.661
15. すばる	0.615	0.131	1.272
16. ばら	-0.708	1.331	2.429
17. はれんち	0.719	-1.250	-0.293

結果は表11, 12のようになる。固有値は最大値から0.693, 0.362, 0.278である。1次元の寄与率が比較的低いので、2次元の寄与率が相対的に高い。



プロット図は図11, 12のようになる。1次元の正負が図9, 10とは逆になっていて、正方向が「年寄りくさい・古くさい」、負方向が「きざ・軽やか・明るい・軽薄」である。2次元は正方向の「好き」だけが目立っている。

それでも、カテゴリーとサンプルの対応がよく表れているとは言い難いが、今回はこれ以上の整理は難しいようである。

ここでも、「ひょうきん」「ばら」が外来語に近い位置にあると言える。「すばる」は「旅」に近く、「なつかしい」に対応するようである。「はれんち」が曖昧な位置にあるのは、「なつかしい・年寄りくさい・古くさい」と「軽薄」の両極に対応しているという特殊性によるのであろう。

語種イメージのゆれをあげる、という意図で選んだ語群であるが、2で述べたように、

確固とした語種イメージがあるのは外来語だけであるから、和語・漢語と外来語の境界だけが問題になるようである。

4 おわりに

今回は、カテゴリーを大幅に整理することによって、語種イメージについての考察はひととおり済ませることができた。今回の分析はごく一部の語群について行ったに過ぎないが、今後、より多くの語を対象とするにしても、2で絞り込んだ10個の評価語を使用することで分析できる場合が多いのではないだろうか。次の機会があれば、評価語は少数に絞って、より多くの刺激語を分析する調査を行なうこととしたい。

また、語種イメージのゆれは、外来語と和語・漢語とのゆれ、に絞った方がよさそうである。それと同時に、大学生に語種の認識がどの程度あるのか、その認識とイメージの関係の個体差を探ることも必要であろう。⁽⁴⁾

他にも反省点はあるが、今後の課題として次稿以降に譲ることとする。

注

- (1) 拙稿「大学生の語種イメージ(1) —— 数量化第Ⅲ類による解析の試み ——」
(『岩手大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要』2, 1992)
- (2) 分析には Lotus1-2-3 2.3J (ロータス) および Lotus1-2-3多変量解析 Ver. 1.0 (オードマン) を使用した。
- (3) 拙稿「語種イメージの分析 —— 大学生と小学生の調査より ——」
(『岩手大学教育学部附属教育工学センター教育工学研究』12, 1990)
- (4) 佐藤栄作「若者のカタカナ使用と外来語表記 —— 語種意識から ——」
(『日本語学』10-7, 1991) には、現代の若者は外来語意識すらも稀薄化していて、「語種」認識が過去のものとなりつつある様相が、表記面の調査に基づいて述べられている。

参 考 文 献

- 林知己夫 1974 『数量化の方法』
- 井上史雄 1980 「方言イメージの評価語」(『東京外国語大学論集』30)
- 水谷静夫 1983 『朝倉日本語新講座2 語彙』朝倉書店
- 古谷野亘 1988 『数学が苦手な人のための多変量解析ガイド』川島書店
- 渡辺 洋 1988 『心理・教育のための多変量解析法入門 —— 基礎編』福村出版
- 石原辰雄・長谷川勝也・川口輝久 1990 『Lotus 1-2-3 活用多変量解析』共立出版

